

施策評価シート（令和3 年度の振り返り、総括）

作成日 令和4 年 04月 04日

施策 No.	16	施策名	農業の振興
主管課名	農政課	電話番号	0285-83-8136
関係課名	生産調整推進室、農業委員会事務局、プロジェクト推進室		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	農業従事者						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
農業従事者	人	3,892	3,892				
農家戸数	戸	3,073	3,073				
耕地面積	ha	7,930	7,940				

施策の目標	農用地の集積・集約化やスマート農業の導入により、収益性の高い農業生産構造が確立され、農作業の効率化と安定した農業経営が図られています。 また、ICT機器等の導入により、いちご生産農家の栽培技術が向上し、「いちご生産量日本一」のまちとして、全国のいちご生産をリードしています。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	認定農業者数、新規就農者数、担い手農家への農地集積率、市外からの新規就農者数は、農政課データによる。いちご販売額、園芸作物販売額は、JAが野データによる。								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
認定農業者数	目標値	人	557	570	595	620	645	670	670
	実績値			529	526				
新規就農者数（5か年累計）	目標値	人	110	115	120	125	130	135	135
	実績値			80	78				
担い手農家への農地集積率	目標値	%	59.4	63.0	63.5	64.0	64.5	65.0	65.0
	実績値			63.2	65.3				
いちご販売額	目標値	億円	81.1	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0	90.0
	実績値			78.6	81.9				
園芸作物販売額	目標値	億円	18.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.0
	実績値			15.1	14.6				
市外からの新規就農者数（5か年累計）	目標値	人	4	5	5	5	5	5	5
	実績値			6	6				
「いちごのまち」とイメージする市民の割合	目標値	%	51.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	70.0
	実績値			56.0	59.1				

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>○市民：地産地消に取り組みます。生産者と農業団体は、「経営の効率化」、「安全で安心な農産物の安定供給」、「農村の環境整備」等に取り組みます。</p> <p>○行政：次代を担う地域の担い手の育成確保に努め、担い手等へ農地の集積・集約化を図るとともに農業経営の安定を促進し、農業・農村の活性化を図ります。</p>
-------------------------	---

2. 実行 (Do) →個別事務事業の実施による (事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性 (Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題 (①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

○担い手育成・確保

認定農業者については、高齢化や後継者不在などの理由により、認定期間終了後更新しない農業者数が、新規認定者数を上回っているため減少している。

新規就農者については、有効求人倍率(景気動向)に連動する傾向にあり、近年有効求人倍率は上昇傾向のため、新規就農者数の伸びは鈍くなっている。

市外からの新規就農者については、支援事業の強化により、目標値を上回っている。

○農地集積

農業委員会及び農業公社と情報共有し、市単利用権設定等促進事業と中間管理事業を活用し、順調に推移している。

○園芸作物の振興

いちご販売額は、生産戸数、生産面積ともに減少傾向にあることや、さらに年内の出荷量が低調だったため、基準値を下回った。

園芸作物の生産者、耕作面積は微減であるが、生産量の減少により、販売額が落ち込んでいる。

いちごのまちのイメージについては、いちごPR事業が新型コロナウイルスの影響により計画どおり実施できなかったものの、コロナ禍に対応した事業実施によりポイントアップにつながったと考える。

(2) 今後の方向性 ((1) の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

○担い手育成・確保

国県市の各支援事業を活用し、認定農業者、新規就農者、集落営農組織、法人等の多様な担い手を育成確保する。

○農地集積

「人・農地プラン」を活用した地域の話し合い等を行い、農業委員会、農業公社、農地中間管理機構と連携し、担い手へ農地の集積・集約化を図る。

○園芸作物の振興

栃木県やJA等関係機関と連携し、規模拡大や品質向上に努め、産地づくりを図る。

生産技術の底上げ、農業所得・農業従事者の確保、農作業の省力化などの諸課題を解決するため、スマート農業の取り組みを推進するとともに、生産設備等の整備を支援することにより、いちご生産日本一を維持し、園芸作物の振興に繋げる。

コロナ渦に合ったいちごPR事業を実施し、市内外に「いちごのまち」を発信するとともに、井頭周辺エリア活性化事業の一環として、観光いちご園増設など農業拠点整備の推進を図る。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和3 年度実績	今後の方向性
1	総重	井頭周辺活性化事業	プロジェクト推進課井頭周辺整備係	井頭温泉入館者数	人	184,594	事業のやり方改善 予算増大
				チャットバレス宿泊者数	人	4,329	事業のやり方改善 予算増大
				あく里っ娘利用者数	人	146,841	事業のやり方改善 予算増大
				井頭観光いちご園入場者数	人	13,661	事業のやり方改善 予算増大
				井頭公園利用者数（プール含む）	人	566,639	事業のやり方改善 予算増大
2	総重	新規就農者育成確保支援事業	農政課農政係	市内で就農した研修生	人	0	事業のやり方 改善
				新規就農者数	人	21	事業のやり方 改善
3	総重	いちごPR事業	農政課農業振興係	いちごまつり参加人数	人	0	現状維持
				いちごのまちとイメージする市民割合	%	59.1	現状維持
4	総重	いちご生産施設整備等支援事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数	人	6	事業のやり方 改善
				支援を受けた農家の割合	%	1.4	事業のやり方 改善
5	総重	園芸作物生産施設整備等支援事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数	人	7	現状維持
				支援を受けた農家の割合	%	3.4	現状維持
6		人・農地問題解決加速化支援事業	農政課農政係	利用権設定件数	件	310	現状維持
				利用権設定面積	ha	161.7	現状維持
				地域の中心となる経営体数	経営体	309	現状維持
7		農業経営対策推進事業	農政課農政係	認定農業者数	経営体	526	現状維持
				地域の中心となる経営体数	経営体	309	現状維持
				家族経営協定締結数	経営体	222	現状維持
8		配合飼料価格安定支援事業	農政課農業振興係	補助農家戸数	戸	33	現状維持
				補助を受けた畜産農家の全畜産農家に対する割合	%	89	現状維持
9		畜産公害対策支援事業	農政課農業振興係	購入組合員数	戸	24	現状維持
				（畜産農家に対する）補助実施率	%	65	現状維持
10		優良種豚導入支援事業	農政課農業振興係	補助導入農家数	戸	6	現状維持
				導入率	%	67	現状維持
11		真岡グリーンツーリズムの推進	農政課農業振興係	イベント・ツアー等開催回数	回	2	事業のやり方 改善
				研修会等実施回数	件	0	事業のやり方 改善
				サポーター数	組	13	事業のやり方 改善
12		市単利用権設定等促進事業	生産調整推進室公社指導係	利用権設定奨励金受給者	人	159	現状維持
				利用権設定面積	ha	203.9	現状維持

